



申
17
号

すべての仲間の努力を評価し「真の笑顔と活気あふれる職場」を
創造するために、2024年度年末手当回答の再考を求める申し入れ

- 東日本エリアヘインバウンドの送客ができなかったことや、
経営判断において増やしてきた有利子負債を理由にする経営姿勢
- 一部の社友会懇親会への経費拠出など、すべての社員に
公正公平に還元が行われていない
などの職場の怒りの声を踏まえ、再度指摘するも会社回答は再考されず

安全問題や要員不足など 職場で発生している

諸問題解決に向けて、労使で一致点を導き出し

2024 年度年末手当について 妥結

団体交渉によって導き出した労使の一致点

- (1) 会社の持続的発展を通じた利益である直近の業績に踏まえ、物価等の社会的動向や生活を考慮して社員の努力に適正に還元していくとともに、そのための議論を労使双方が惜しむことなくおこなっていく
- (2) 成績率の適用は、任用の基準に則り公正に判断して取扱うこととし、手当水準を補うような考えはない
- (3) 現場社員の努力による昨年度を上回る業績の結果を損なうことのないよう、すべてのサービスの信頼の基盤である「安全」をしっかりと堅持していく
- (4) 超過勤務・休日出勤が前提となる勤務作成はあるべき姿ではなく、必要な要員は確保していく
- (5) これまでと同様に優秀な人材確保に積極的に取り組むとともに、離職者が増えぬよう魅力ある働きがいのもてる職場づくりに努めていく

**働く者が真の主演となる安全な JR 東日本を
輸送サービス労組の強化拡大を通じて実現しよう!**